



泉佐野市議会議員
つじなか たかし
辻中 隆 レポート No.2 (2008年春号)



医療

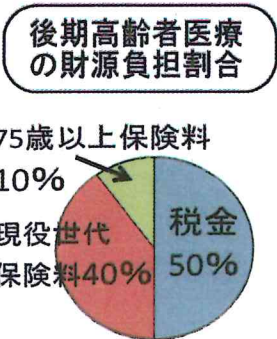
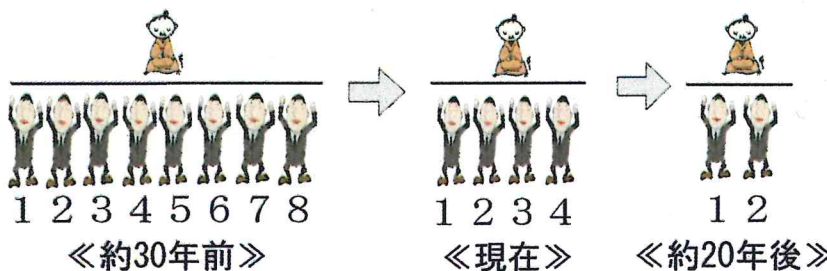
後期高齢者医療制度
(長寿医療制度)



4月から75歳以上を対象とした新しい医療制度がスタートしました。

①なぜこの制度が作られたの？

現在30兆円に上る医療費のうち高齢者の医療費が11兆円を占めています。20年後には医療費が60兆円に膨らみ、そのうち30兆円が高齢者医療費になると予測されています。また75歳以上の人口は現在約1300万人から20年後には約2000万人に増加する一方、今後の社会を支える若い世代は減り続け(下図参照)超少子高齢化社会を迎えようとしています。その上、地方では国民健康保険は財源が非常に厳しい状況にあります。高齢者の医療を持続可能な制度で国民全体で守り支えるために、創設されたのがこの制度です。



②今までとの違いは？

- ◆今まで保険料を払う必要がなかった子供等の扶養に入っていた方々に公平化を図るため、支払い義務が生じました。
- ◆保険証2通が1通でよくなります。
- ◆今まで市町村で運営されていたのが、府・県単位の広域での運営となるため、近隣市町村での保険料格差が縮まります。
- ◆治療費、窓口負担に変わりはありません。
- ◆保険料は、地域差・個人差はありますが、安くなる人が多いようです。泉佐野市を例に見ると下記の試算が出ています。

後期高齢者数 (75歳以上の人口)	子供等の扶養に入ってる人 (今迄支払い義務のなかった人)	保険料負担が下がる人	保険料負担が上がる人
8,717名	約1,400名	約80%	約20%

財政



(平成20年1月29日 厚生省にて陳情)

関空連絡橋を国が買い取るという話が浮上しております。この問題で、泉佐野市は連絡橋の固定資産税分として毎年約八億円もの税収を失ってしまうこととなります。そこで、今年一月末に市議会議長(公明党 鈴木議員)を先導に会派を超え、市長と共に東京の関係各機関に陳情して参りました。この危機を回避するため、今後とも府・国に働きかけて参ります！

関空連絡橋問題

教育

第三中学校に新校舎が誕生!! 設備等も刷新し改善された環境の中、新学期がスタートしました。



(新校舎)



(下足室)



(WC)

初当選以来、早いもので2年が経過しました。このレポートを通じて、自身の日頃の取り組みや地域・行政等の情報を発信しながら、より多くの方々の声を承りたいと思います。ご意見・ご要望をお待ちしております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

泉佐野市議会議員 辻中 隆

携帯 090-3928-6368 自宅 461-2348 議会事務局 464-3723